

## 日本CBMC総会の開催ご案内 9/3土



御茶ノ水OCCビル

9月3日(土) 5-7PM 会場：東京お茶ノ水OCCビル8F (811)

総会および今後のCBMCの活動についての話し合い、および来年3月の国家晩餐祈禱会のための準備祈禱会を合わせて行います。CBMC会員および各支部の活動に参加している方は参加できます。どなたもぜひご参加下さい。

## CBMC東南アジア (ASEAN) 大会ご案内 9/22



初めての開催となる「CBMC東南アジア (ASEAN) 大会」が9月23日にシンガポールで開かれます。資料を添付しますので、ご興味のある方は直接開催事務局か、または近藤までお問い合わせ下さい。添付PDFパンフ参照。

シンガポールCBMCのHPは <http://cbmc.sg/events.html>

シンガポールCBMC

## 「月曜日のマナ」翻訳ボランティア募集



「月曜日のマナ」を8月から、日本語での配信を計画しています。週1回、A4×1枚程度の英語からの翻訳をお手伝いできる方を募集しています。メールでのやりとりができる方であれば、国内・国外どこに居住している方でも構いません。日本語訳の見本(昨年のもの)参照。CBMC支部例会での学びに利用できます。

Monday Mana

## 9/23金「第四回 関西・国家朝餐祈禱会」ご案内



日本CBMC元理事長の米田昭三郎兄が委員長を務める同実行委員会および韓国CBMC大阪支会が主催でシェラトン都ホテル大阪にて朝7時半～9時に開催されます。お近くでご都合のつく方のご参加下さい。

詳しくは同事務局(大阪OCC内)へ 電話 06-6762-7701

## 「日本CBMCだより」について

世界のCBMCの働き、および国内各支部の働きをEメールで毎月紹介していきますので、各支部でも報告またはコメントをまとめ(A4以下)、翌月5日までに本部へお送り下さい。それらをPDFにまとめて、全支部へ毎月送信していきます。



**日本CBMC 本部事務局** (グレイスセンター内)  
〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16-3F  
TEL: 052-265-8575 FAX: 052-265-7521  
**理事長 近藤 高史**  
携帯 090-8475-5510 kondo70@gmail.com

## 日本各地のCBMC支部報告



東京PC支部は、お茶ノ水OCC4Fの東京プレーヤーセンターを会場に**讚美・祈り・証しの集会「ゴスペルナイト」**を開いています。今月は7/22金16時～17時。CBMCのための祈禱会はその前の15時からです。



名古屋支部の6月例会(VIPランチ合同)は6/29水12-14時名古屋市上前津ローズコートホテル1Fにて8名参加。ランチを頂きながら、大村兄の証、交わりと祈りの時を持ちました。東京より養口兄の参加もあり。次回は7月は休みで8/22月予定。



**2017.3.24**  
**開催予定の**  
**17回 国家晩餐祈禱会**  
**について**

6月23日に東京赤坂のホテル・ニューオータニ(ガンシップ)で開かれた**国家晩餐祈禱会**のために準備会には、**22名の方が参加されました**。CBMC東京ピース・クリエーター支部(森敬子支部長)を中心に、いわき支部(大越支部長)、群馬支部(岡部支部長)、東京第一支部(清弘兄・久田兄)、東京中央支部(佐佐木ジョシュア副支部長・アチーブメント中山氏:青木副理事長代理)、名古屋支部(近藤高史・千絵)に加え、奥山実牧師、鮫島牧師、松井牧師らもおいで下さいました。

まず、本年3月25日に行われた第16回同祈禱会の反省が話し合われ、特に参加者の動員(個人的に数十人分の動員をして下さった方が何名もあり)と**財務(総予算約700万円…添付した収支決算書を参照)**に大きな負担があり、個人的にこれを担って下さる方々により、結果的に600名近い盛会となる事ができたが、同じことの繰り返しをしてはならないとのことでした。

また「晩餐祈禱会」としてこれを行っているが、そもそも「晩餐」と「祈禱会」は一緒にできないので、夜の晩餐会と翌日の祈禱会に分ける(本来、海外ではそのスタイルです)べきとの声も上がりましたが、日本の現状では2日に分けることでさらに負担が増えたり、結果的に動員がどちらも難しくなるとの意見も出されました。

そうした中で来年度の具体的な叩き台として、**特に動員と財務の問題を解決する方策として「テーブルマスター制」の導入が提案されました**。これは、1テーブル10人とするなら、仮に1人の方があるいは団体が、1テーブル分の動員と会費については責任を持ち、それ以上の負担を個人や主催者が負うことがないようにし、主催者はより良いプログラムと海外や議員など来賓参加者についてのホストに徹するようになるというアイデアです。ただしそのためには、**国家晩餐祈禱会の趣旨に賛同し、費用的には10万～13万円ほどの責任を持つという方や団体を50名は集める必要があります**。(注:50名なら全500名の参加者になります)

次回9月3日の総会時には、このことも日本CBMCの働きの一部としてご承認頂き、具体的な準備をそこから始めていきたいと願っていますので、何卒、ご理解ご協力をお願い致します。